

下水道 きれいな水を 未来まで

9月10日は下水道促進デー

私たちの生活の中でいろいろな形で使用された水は、汚水となって捨てられます。下水道は、この汚水をきれいな水にしてから川や海に戻し、私たちの快適な生活環境を維持していくのに必要なものです。「下水道促進デー」を機会に、下水道の役割について改めて考えてみたいものです。

水洗化工事は 3年以内に

市の下水道は、昭和六十二年度から工事に着手し、今年四月から一部の区域(対象面積九十一町)で供用を開始しています。

全体の整備計画区域は千八百七十二町ですから、ようやく歩き始めたばかりです。

整備された下水道も皆さんが使用しなければ何の効果もありません。既に下水道が整備された区域では、三年以内にトイレの水洗化等の工事をし



今年度の下水道工事箇所は図のとおりです。これにより、五年四月から新たに水洗化できるようになる区域は二十五町の手前です。工事期間中は、道路の片側交互通行、一部通行止め、騒音などで大変ご迷惑をおかけしますが、皆さんのご協力をお願いします。

下水道についての問い合わせは、市下水道課(内線339か356)へどうぞ。

ご協力ください

下水道工事

用件は正しくあわてず119番

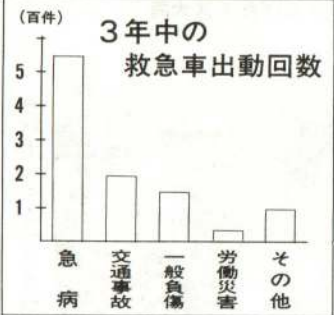
九月九日は「救急の日」。この日を含む一週間(日曜日から土曜日まで)は「救急医療週間」です。私たちは、いつ、どこで突然の事故に遭ったり急病になったりするかわかりません。救急医療が、私たちの命を守ってくれています。

ピーポー、ピーポー、昼夜を問わず、私たちの命を救うために駆け付けてくれる救急車。昨年、市では救急車の出動回数が九百九十四回。平均して毎日二、三回出動したことになります。出動の内容は、多い順に急病によるもの五百四十三回、交通事故によるもの百九十三回、一般的ながによるもの百二十九回などとなっています。しかし、「119番通報があつて出動した中には、必ずしも緊急性のないものも少なくありません。出動してみたら、自分で病院へ行けるようなケースもあります。本当に救急車を必要とする通報があつたときに救急車がいなかったとしたら……」と石井救急隊長は話していました。救急車を呼ぶときは、その場の状況をよく把握し「正しくあわてず」に用件を伝えるようにしたいものです。

救急フェアにおいでください

消防署では、救急業務や救急医療について、皆さんに正しい理解と認識を深めてもらうため、救急フェアを開催します。当日会場では、救急車を展示するほか、簡単な応急処置の講習会を開催します。どうぞおいでください。

とき・9月7日 10時30分～15時
ところ・いとくショッピングセンター正面玄関前



救急車を呼ぶときのポイント

1. 「救急車」と言う
 2. 事故などの発生場所と近くの目標を言う (○町○番地、△小学校の付近など)
 3. 病人、ケガ人の数と容態を簡単に言う
 4. 自分の名前と電話番号を言う
- ※ピーポーが聞こえたら、外に出て誘導してください